

【レーティング・モニター解除/格付け変更/維持】

地域金融機関平成 18 年 9 月 CLO

信託受益権	優先受益権	(AA+)	→	A
	メザニン受益権	(A+)	→	BBB+

地域金融機関平成 19 年 6 月 CLO

信託受益権	優先受益権	(AA)	→	A-
	メザニン受益権	(A)	→	BBB

地域金融機関平成 19 年 9 月 CLO

信託受益権	優先受益権	(AAA)	→	AAA
	メザニン受益権	(AA-)	→	A+

地域金融機関平成 19 年 12 月 CLO

信託受益権	優先受益権	(AAA)	→	AAA
	メザニン受益権	(AA)	→	AA

地域金融機関平成 20 年 3 月 CLO

信託受益権	優先受益権	(AAA)	→	AAA
	メザニン受益権	(AA-)	→	A+

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付けを公表しました。

【案件の概要】

R&Iは2009年2月27日に平成18年9月CLO、平成19年6月CLO案件について格下げし、引き続き格下げ方向のレーティング・モニターに指定しており、また2009年5月1日に平成19年9月CLO、平成19年12月CLO、平成20年3月CLO案件について、格下げ方向でレーティング・モニターに指定した。

R&Iではこれまで格付けした募集型中堅・中小企業CLOのパフォーマンスを蓄積し、そのパフォーマンスを注意深く見守ってきた。同CLO案件の特徴として、他の案件と違い最大債務者の占める割合が件数、金額ベースともに比較的高いため、最大債務者のデフォルトのタイミングによっては、標準シナリオに対するインパクトが過大となる傾向がある。

特に上記5案件は最大債務者の占める割合が件数ベースで7.5%以上、金額ベースで20%以上と多い。

このため、標準シナリオを見直すモニタリング方法は、モニタリング方法として必ずしも適切でないケースが見られる。募集型中堅・中小企業CLO案件(注)で最大債務者の占める割合が高い案件については、残存劣後及び信託の留保金で最大債務者の数をどの程度カバーできているか等により、適時格付けを変更する方法にて、モニタリングを行う。この方法により、格付け対象のトランシェの損失までの距離が的確に把握できることから、投資情報として有用、適切な格付け情報が提供できると考えている。

上記の考え方から、格付けを以下のように維持および変更した。

(注) 保証でカバーされる保証付中堅・中小企業CDO案件は除く

【格付対象】

名称	格付け
地域金融機関平成 18 年 9 月 CLO 優先受益権	(AA+) → A
地域金融機関平成 18 年 9 月 CLO メザニン受益権	(A+) → BBB+
地域金融機関平成 19 年 6 月 CLO 優先受益権	(AA) → A-
地域金融機関平成 19 年 6 月 CLO メザニン受益権	(A) → BBB
地域金融機関平成 19 年 9 月 CLO 優先受益権	(AAA) → AAA
地域金融機関平成 19 年 9 月 CLO メザニン受益権	(AA-) → A+
地域金融機関平成 19 年 12 月 CLO 優先受益権	(AAA) → AAA
地域金融機関平成 19 年 12 月 CLO メザニン受益権	(AA) → AA
地域金融機関平成 20 年 3 月 CLO 優先受益権	(AAA) → AAA
地域金融機関平成 20 年 3 月 CLO メザニン受益権	(AA-) → A+

今後、各案件のデフォルトの動向、最大債務者カバー率、並びに今後の劣後水準の積み上がり動向などを考慮し、引き続き格付けを検討していく。

格付方法

格付対象の評価において、R&I は主に以下の格付方法を用いました。当該格付方法は当社のホームページに公開されています。

	項目	URL
2007年9月	証券化商品モニタリングの視点	http://www.r-i.co.jp/jpn/rating/st/detail/j070906_101.pdf

また、格付対象の評価の過程で考慮した格付方法は以下のホームページに公開されています。

<http://www.r-i.co.jp/jpn/rating/st/methodology.html>